



社会福祉法人 ほっとスマイル

ぼぼデイ名塩駅前 669-1134 西宮市名塩新町 5021-11 TEL 0797-62-0705

ぼぼデイ東山台 669-1133 西宮市東山台 1-1 TEL 0797-62-1165 (1F)

TEL 0797-26-7705 (2F)



季節の移り変わりは早いものです。毎日のように「寒いね」と言っていたのに、今では「今日は暖かいね」という会話が聞かれるようになりました。春はもうすぐそこまでできています。

放課後、元気一杯にデイに来て、各々好きな遊びを楽しんでいます。時々あそびの邪魔をされてケンカが始まります。一緒に遊ぼうと誘っても「いや!」と言われ、しょんぼりしていますが、すぐに仲直りをして遊びだします。また、何人か集まり、ゲームを楽しんでいる姿も見られます。お子さんたちは集団の中で少しずつですが成長していると感じます。

3月はお子さんたちにとっては、卒業、卒園があり、生活が大きく変わります。期待と不安が交わり、毎日の生活の中でイライラや甘えなどが出てくると思います。しばらく慣れるまで時間がかかると思いますが、ご家族でも元気に見守って頂けたらきっとお子さんの成長を感じられるのではないかと思います。デイでも、そんなお子さんの不安な気持ちに寄り添い、毎日楽しく過ごせるようにしていきたいと思います。

(K. Y記)

### 3月の児童発達支援

お散歩のときには、お友達同士で誘い合い、仲良く手を繋ぎ歩く子どもたち。繋ぐことで、走り出したくなる下り坂や、ひとりで登って歩いていきたくなる段差も、お友だちのことを考えてゆっくり歩こうとする姿が見られます。2月は、お花のつぼみやチューリップを植えてある場所を発見し、「いつ咲くかな〜」と通るたびにみている姿もありました。もうじき芽が出てくるかな? ☆3月は春の暖かさを感じながら積極的に身体を動かす活動を取り入れつつ、道中ではお花の成長をみんなで発見し、気づき、喜びに繋がればと思っています。



### 3月の放課後等デイサービス

図書館で自分が読みたい本だけを借りるのではなく、お友だちのことも考えて本を借りたり、地域のお友だちと一緒に児童センターのドッジボールに参加して、張り合いながらお互いに楽しい時間を共有したり、あるいは、おやつのお買物から実際におやつを作るところを職員と協力しながら行っています。ぼぼデイでの活動を通して、お互いの気持ちを思いやったり、競いあったり、力をあわせたりなど、子どもさんが意欲的に活動できる場面を作ることが出来たらと思っています。このような日々の活動の中で、子どもさんの成長がふと垣間見られ、職員は微笑ましく、また嬉しく思っています。

### 3月の児童発達支援 東山台 さくら

幼稚園の生活発表会を観に行かせていただく機会があり、日々、皆さんがいかに幼稚園で頑張っているかを感じることができました。「すてきだったよ」「私、感動したよ」等伝えると、照れる子どもさんの姿に愛おしさを感じました。いよいよ5歳児さんは幼稚園を卒園し、4歳児さんは進級する時期です。5歳児さんがスムーズに放課後クラスに移行できるように、今月は放課後クラスとの交流の機会を作る予定です。クッキング時はお別れパーティーも兼ねたいと考えています。

## 行事予定

### (駅前)

12日(火) 職員会議  
読み聞かせ  
18日(月) 職員研修  
19日(火) 避難訓練(火災)

### (東山台)

13日(水) 読み聞かせ  
職員会議  
19日(火) 避難訓練(火災)

(共通) 2日(土) 第1土曜活動日 16日(土) 第3土曜活動日  
5日(火) 職員合同研修 28日(木) 安全点検日

## お願い

○東山台の2F 駐車場では(3月末日まで)3台の工事車両が停まっています。ご不便をおかけしています。

駐車時、乗降時には、お子様に十分注意して下さい。

## お知らせ

○アウトリーチ・・・2/25AMに未来センターよりST(言語聴覚士)さんと保育士さんが来られ、お子さんの様子を見て下さいました。発語の促し方、食事方法など、職員にとってもよい学びの機会となりました。



## 「こころの宝もの」

先日、職員さんから聞いた話。ある日、勤務の都合で久しぶりにあるお子さんと顔を合わせたそうです。すると、その子はそっとそばに寄ってきて、耳元に口を寄せて、小さな声で、そっと、「またウサギで遊ぼうね!」と言ったとか。その職員さんはそれを聞いて、はっとしたそうです。実はもう1か月以上も前に、二人で、長い間シルバニアファミリーで遊んだことがあったのです。きっとその子は、久しぶりに会ったその職員さんの顔を見て、あの楽しかったひと時のことを、反射的に、あたかも「秘密の花園」で過ごした、大切な、大切な時間のように、思い出したのでしょう。そして、その時は二人っきりだったので、その二人っきりの時間が、いえ、二人っきりだったからこそ、かけがえのない、大切な時間の記憶として、その子のこころに残っていたのでしょう。二人だけの、秘密…。子どもたちは自分にとって大切なものを、一つひとつ、これが、ぼくの、わたしの、宝ものと説明してくれる訳ではありません。自分にとって大切な宝もの意識することもないでしょう。でも、子どもたちはいつも、宝ものをさがしています。自分だけの、あの人と私だけの、秘密の宝もの…。

(M記)

## スタッフの一言

進級、進学に向け、準備するシーズンがやってまいりました。また1つみんなは大きくなってお兄さん、お姉さんとなっていくのですね。未来の可能性を秘めたみなさん、がんばってください!!

ぼぼデイ東山台 森田宏子



午前中、駅前2階で事務をしています。東山台から遊びに来てくれる子どもたちや散歩帰りの子どもたちとの、インターホン越しのやりとりが密かな楽しみです。弾んだ声にこちらまで笑顔になる私です。いつでも遊びに来てね!

ぼぼデイ名塩駅前 小川恵美